

# 情勢の変化に方針転換やむを得ず



## 錦城高校新聞

### 速報版

錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2021

# 367号

錦城祭は生徒のみで開催  
球技大会は中止が決定  
これらを受け、生徒や  
先生にインタビュー

## 錦城祭は生徒のみ、球大は中止に

9月1日(水)の始業式で、今年度の錦城祭は生徒のみで開催、秋季球技大会は中止となることが発表された。今号では、始業式で松林博之校長先生から話された内容と、今後の方針、生徒の声を紹介する。

(編集部共同取材)



今までのコロナ対策をより徹底して行っていこう

### コロナで行事予定変更へ

始業式の放送で錦城祭を生徒のみで開催すること、球技大会の中止が発表された。校長先生は放送で「危ないからといって行事をすべてやめても進歩はない」と話し、今までの新型コロナウイルス対策をより強化して学校生活を送る旨を伝えた。部活動の時はマスクを外してもよいことになっていくが「プレイ外で、検温や消毒・マスクをしているか、飲食時に話さず黙食ができていたか」と錦城生に問いかけ「まだまだ改善点はあると思います」と話した。

### 2学期の対応は

9月1日(水)の始業式に発表された内容について、校長先生に判断の経緯を伺った。まず球技大会中止の経緯として「マスクの着用が義務と

## セーター、フлиザーの着用が許可されました!

連日の季節外れの寒さの影響により、現在は夏服着用期間ですが、特別にセーター、フлиザーの着用が許可されました。服装を調節して、体調に気を付けましょう!



## 「当たり前」を当たり前

生徒指導部主任の郷野康輔先生は2学期の感染対策について「ホームルーム単位ではあまり変更されている点はありません」と話す。しかし、授業では必要なところもある。たとえば体育では、マスクを外してはいけなかったり、授業の内容が変更されたりしている。また1、2年生の柔道の授業では、東京オリンピックの映像を視聴するという映像学習を始めるそうだ。

さらに、昼食の際には喋らずに食事をする「黙食」や体育の着替え中での会話は控えるということが続けていってほしいと話す。「2学期は新たな感染対策を始めるというよりは、今まで行ってきた感染対策はどのような効果があるのかを生徒1人1人が考えて、深く理解してほしいです。そして、当たり前のレベルを上げていきましょう」と呼びかけた。



昼食の際には  
黙食を意識しよう



定期的に手指消毒をしよう

定期的な手指消毒は、感染対策の重要なポイントです。また、リモート授業導入に関する意見もあつた中、校長先生は対面授業の重要性について語る。「友達に説明するこ

とで育まれるコミュニケーションなど、学校に来て授業を行うことでしか得られないものがあります」と校長先生。またリモート授業をこれまで見送っていた理由については「リモートで仕事をしていないという気持ちで油断しないことが大事です」と語る。そして「1人ひとりの自覚を高めることで感染爆発は防げます。これまでも生徒のみならず、先生はよく頑張りましたが、これからはさらなる対策の徹底をお願いします。きつと乗り切れると思いますし、錦城生ならできます」と呼びかけた。

(紅)

# 移ろう生活 生徒の声は

錦城祭と秋季球技大会の変更・中止を受け、各実行委員長と生徒の行事への思い、2学期の体育の授業の形態について取材した。(編集部共同取材)

## 各行事の委員長は

### 球技大会実行委員長

秋季球技大会の中止を受け、球技大会実行委員長の小川悠大さん(2D)に取材した。小川さんは「3年生とできる最後のイベントなので止まってしまつて残念です」と話す。一学期に何度か集まって、大会の運営や競技のルールを計画や練習していたという。秋季球技大会は錦城祭とセットというイメージがあるため、球技大会のみ中止になったことは悔しいそうだ。「学校全体が楽しみにしていると思うので、来年度は楽しんでほしいです」と思いを語る。

「球技大会は大きな行事なので、1、2年生は来年度開催されるときにクラスの団結力を高



「球技大会が中止になってしまい残念です」

めてください。運営はそのチャンスをより多く作れるように頑張つてほしいです」とメッセージを送った。

### 錦城祭実行委員長



「コロナ対策をしながら錦城祭を楽しみましょう」

今年度の錦城祭は、生徒と保護者のみで行う予定だった

が、2学期の始業式にて、生徒のみでの実施に変更することを発表。これを受け、錦城祭実行委員長の長屋碧さん(2C)を取材した。長屋さんはこの変更に対し「保護者などの参加ができなくなったことは悲しいですが、生徒だけでも開催できて嬉しです」と話す。また、今回は学校での開催に加えて「オンライン錦城祭」を同時開催することが決定。開催理由について「中学生や保護者の方に錦城祭がどんなものか知ってもらおうと、観覧を通してその場にいるような気持ちになれるからです」と話した。

最後に「開催まで残りわずか、当日に向けて一生懸命頑張つているので、錦城祭を楽しんでもらえると嬉しいです。各企画準備頑張りましたよー！」と呼びかけた。

現在、実行委員会では体育館で密対策のシミュレーションを行ったり、各企画の準備の見回りを行ったりしているという。錦城祭当日に生徒に守ってもらいたいこと、意識

してほしいことについては、マスク着用と手指消毒、廊下の側通行や物の貸し借りの禁止、体育館やホールでの間隔確保の徹底を挙げた。

「1学期同様、感染対策をしながら授業を行います」



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて体育科主任の石塚友規先生に今後の体育の授業方針について話を聞いた。

グラウンドで行われる体育での感染対策について「1学期同様に行っていきます」と話す。マスク着用での熱中症の危険性に関しては、リスクを避けるために本来グラウンドで行う種目を体育館で出来る競技に変更して回避していくそうだ。体育館での対策は「窓と扉を開け、エアコンと送風機を使って換気と熱中症対策を同時に行っていきます」と語った。柔道では9月中は柔道を行わず、様子を見ながら実施していくそうだ。最後に錦城生へ「体調不良の時や少しでも気分が悪いと感じる場合は無理をしないで休んでください。そして消毒をしっかり行い、マスク着用を心がけてください。もし、マスクを外すときは人のいない場所で外してください」と注意を呼び掛けた。(桂)

## 生徒はどう思っている？

2学期の学校生活の指針が始業式に発表されたことを受け、生徒に意見を聞いた。

Aさん(1年)は対面での授業に反対だという。「感染が急拡大している中で、毎日1500人もの生徒が集団で生活することに怖さを感じるから

です」と理由を語った。オンラインまでとはいかなくとも、分散登校などの少しでも集まる機会を減らす措置が必要であると考えているそうだ。生徒のみでの開催となった錦城祭に関しては「家族や友達と期待と言っていたのでとても残念です」と率直な胸の内を明かした。また、球技大会に向けて練習していたというAさん。中止については仕方ないと受け止めた上で、代替行事についても「形を変えて行うとしても都内の新規感染者が少なくないとは言えない今の状況下では見送るべきだと思います」と見解を示した。

Bさん(2年)は、授業が対面で行われることについて、賛成だという。理由について「対面での授業の方が学びやすいですし、不公平が生じにくいと思います」と話す。また、球技大会が中止になったことに関して「やりたかったですが、マスクを外して行うのは危険なので、仕方がないと思います」と語った。コロナが収まった後に、以前のような学年レクのような形式で代替行事などが行えたらという思いもあるそうだ。そして、錦城祭については、中止になってしまいうだろーと考えていたという。「生徒だけでもできることに感謝したいです」と開催を喜んだ。



感染対策をしながら錦城祭準備をする生徒も

す」と見解を示した。